

穀倉地帯(北安省)に於ける土木技術者

副會員 吉田幸太郎*

(1)世界の新秩序決定又は東亞の共榮圈確立には戦争は絶対に勝たねばならない其して又この戦争に勝つ爲には物が絶対に必要である。

こゝに於て我が日滿兩國が現在ほど物資の必要を要請し物資の生産力擴充に國家が動員された事はない、統後には益々之が統制を強固にし國民は困苦缺乏にたへ今後戦争が何年續かうとも磐石の如き不動の精神を要し又他方に於ては更に一段と産業増産が遂行されなければならぬ。

この秋に於て爲政者は國策の重點を産業増産に置きこれに對し科學振興及技術動員が企圖された、自然科學は合理的な新時代の精神を涵養し其の應用理念に於ける技術は産業部門に最高度の増産擴充をなし得る技術戰士の動員が急務とされた。

然らば我が滿洲國の現状如何こゝに於て持てる國滿洲は曩に産業5ヶ年計畫が樹立され又北邊振興及開拓政策等の國策により重大時局に即應し益々資源の開發増産が遂行され福輻國家に援助をなし以て日滿不可分の經濟關係が發動されるにいたつたのである。

かゝるとき我が北安省は北滿穀倉として此處の農産物は一躍滿洲國の注目される所となり本省の農産物特に大豆小麦等の穀物の増産及び出荷は國策に影響すること甚大となつたのである。

本省の農物は年産額200萬屯を有し特に大豆に於ては滿洲國の6割にして尙滿洲國は世界の6割を示むるに及んで實に當地方の生産額は世界の3割6分と言う實に世界的生産地である、此の廣大なる穀物は拜泉縣を中心に明水、望奎、依安、克山、克東、洮倫、各縣に蒐荷されこれより馬車にて輸送道路を過て鐵道沿線に搬出されるのである。

私はこの重要な農産物の出荷が果して現在の輸送道

路にて支障無きやとの交通部門にたいする調査の5月上旬拜泉縣を中心とする鐵道沿線までの道路輸送經過、交通量及之が搬出に對し道路程度如何、地に於て技術的踏査をなしたるに、其の結果之等路が餘りに悪く餘りに重要輸送に對し貧困なるを聞し現状打破の急務なるを痛感してやまなかつた。

其の最も重要とされる克山拜泉間の如きは出荷に1日馬車4500台もの交通量を有すれど橋梁は一して之等を連續に通行する輸送荷重にたへ得る頑固所は無く尙本年は20年來の大雪の爲に解氷は遅だ地盤は弛み、烈しき交通にたへ得ざりし荒さからには當時無理な積荷をして氣息をんもんたる斷如き馬車の當時の苦しき息吹が各所に感じられた。

私はこゝに於て早速現地の地方行政に携わる拜泉縣長に面接し道路と農産物増産の關係を端的に斷である「輸送に對して現在の道路如何、増産計畫急に物をほしがつてゐるか物を作るまで又物を手

副縣長は即座に「そうです、道です、道なくしでの増産は考へられませぬ鐵道沿線背後地に於けるは今日この道の爲に増産の掛壁と共に益々苦しい輸送の負擔は彼等の唯一の努力をも奪い更に其りではなし其の爲に最も大事な大切な土地さへもてしまうのです」と低い聲で靜かに言つたが其れ力のある重みや現實にたいする眞誠味が感じられ

道の重要性は遂に増産と言ふ一課題にのみとどかつた、現在の状態が永く續けば滿洲の穀倉地帯農民はこの爲に耐へがたい苦痛に呻吟せねばならぬ、依つて現状打破は1日の早きを欲し農民更

* 北安省開拓建設科技士

増産の対策は緊急を要するのである。

然らばこの対策及解決にたいする方法手段や如何に、
 実施されて居る奨励金による方法もある然しこれは
 らに交通量を増大し不圓滑を來たした爲に道は複雑と
 あるのみである、努力は最大限度に輸送それのみに
 すれば車輛は動き得れど使用される道の根本的対策
 無いかぎり努力のみにては前と同じく不可である、こ
 に於て切實に必要とされるものは道路の改良の夫であ
 るところ土木技術なのである。

論現在の社會機構に於て資金と努力があれば道路築
 事業として容易に施行され得るか本道路をかゝる翻
 のみによつて營利事業として遂行されるとき地方行
 及ぼす影響は甚大にして先には暗澹たるもの多きを
 察されるのである。

私はこゝに眞に要請されるものは只管誠實と努力とに
 る土木技術の挺身と地方民衆と情熱とを持つて本穀倉
 の更生を指導する精神が推進力となる事であり而し
 職産業増産の所期目的を達成されん事を切望してや
 りである。

(2)斯くて我が省の穀倉地帯に於ける更生及増産は道
 の改良即ち土木である、土木技術なくして現實に即應
 の増産計畫は成立しない。

私はこの技術的見地に於て現在直接興農に携る合作社
 に面談し道路による興農増産を順々と話つた。

然るに事實に期待に反し以外にも理事からはさほど感
 と理解を得る事は出来なかつたのである、つまり理事
 の論道もある然し單に道のみによつて現状を打解す
 は出来ない、統制價額の問題、運搬機材の不足、奨励
 する対策、又本年の場合降雪に對する脱穀作業の
 及現在實施されて居る交易場と糧棧の關係等の問題
 議する譯にはゆかない」と身分の職域分野のみ話つ
 は其れを聞いて苛立たしかつた皆道によつて解決さ
 ではないか新時代にこれほど科學技術を要請されて
 のに、だか理事は尙「輸送は彼等農民が收穫を終る
 下旬の路面の結氷を待つて始まり解氷までは其8割
 結するのである之の輸送屯數表を見て下さい」なる
 表に表はれる曲線は10月下旬より次第に上昇し3月

下旬にはほとんど終りに近づいて居る特に奨励金は甚し
 く其の曲線に影響し有る時は急激に上昇し或は其の反對
 の場合は下降して居るのである、私は其の表を見ると理
 事の意向に全幅の反對を感じる事は出来なくなつた。

だか然し道である、結氷期間のみ輸送せねばならぬの
 は其れ以外頼る事の出来ない現在の道の爲である其れら
 はかならず道の対策によつて解決されるのであると思ふ
 信念は變らなかつたが、其れ以外に道に關係する種々難
 多な複雑なこの穀倉地帯を動かす地方民情を思出されず
 に居られなかつた。

北滿の穀倉は今日今頃の短日月に出來たのではない、
 こゝには何十年前より又其れ以上の昔より彼等農民の先
 聲達にすり開拓されこの廣大なる耕地が建設され其れが
 今日こうして動きつゝある事實を考られずにいうれない
 のである。

今、急遽にこゝに近代科學と其の優秀なる近代土木技
 術の理論と設計のみによつてこゝの農民達を果して動か
 す事が出来るであらうか。

ちよと夫は剃刀で牛を料理する如し優秀なる土木技
 術夫のみで鈍重で其のくせ利潤に敏感な農民大衆とこの
 廣大な穀倉地帯の革新と更生を望む事は困難であらう。

私はこの穀倉地帯を顧り又其の更生増産を考る時土木
 技術夫のみでなし彼等農民の苦惱と其の指導者達人間の
 歩みを肉體的に掴み現實に動きつゝある穀倉地帯をもつ
 ともつと廻り下げる事の知識と情熱を持つて綜合的批判
 を如へ眞にリアルな姿を見つめて対策を加へる事が又甚
 だ必要なるを痛感したのである。

然らば之に挺身すべき我等少壯技術者に果して其の綜
 合知識有りや、私はこゝに於て障害に差掛りたと云ふ
 外はないのである。

國道標準規定は知つて居る又橋梁の許容強度に對する
 断面の決定も出来る、だかこの場合に於ける糧棧とは何
 か交易場の仕事は如何興農合作社は農林行政は何なる方
 向に指導されて居るか、私達は唯夫れらの概念だけを知
 つて技術と結びつけ穀倉地帯の更生革新は危険である。

夫のみではない彼等農民の一部には私設鐵道をも敷設
 せんとする噂さへ有る時私達は夫ら指導者達と直接語り

鐵道と道路の比較論を述べ或は農産物増産が如何に國策として要請されて居るかそして道路が如何なる關係にあるかを納得させうるだけの常識と勇氣有りや私はこの時出來得ると言いきる少壯技術者は少なからうと思ふのである。

然しながら地方産業道路は夫なくして眞の國民の道路建設は出來ないのではないかと思ふのである、切實にせまつた農産物増産と道路改良にあたり1日も早く産業政治經濟の加味された土木により穀倉地帯が蘇がへる事を切望してやまぬのである。

(3)北安省は昨年(1927)の10月下旬に郷土建設工作と言ふ運動が出來た、省長以下全省官吏は其の運動に立上つたのである、省公署に其の時分職員全部會合する場所がなし未竣切の北安劇場と言ふ映画館で發會式を土げ其の後開拓廳は街の全部が見える高台の神社の右側の忠靈塔の前で會合した、ちようど北風が強く寒いので皆防寒帽や防寒外套を着て居たが足の悪い廳長はステッキで體を支へて外套をぬいで歸つた。「我等の行政は省民に浸透して居るか又我等官吏は果して大衆を把握して居るか夫等を深く考へる時出來て居ると斷言は出来まい。

建國の人柱にもつと我等は眞剣にならなければならない懺悔しなければならないのだ、これが即ち我等が翻作と言ふ郷土建設工作である、遠く海を渡つて來て日に其の日を唯單に暮す様な日系官吏は大君に申請ない、全省職員事務であらうと技術者であらうと眞に地に付いた行政に邁進せねばならない」省長の話は一語一語強く我達の胸を打つものがあつた我等土木技術者は建國以來たへず第一線に立ち道を開き橋を架け又鐵道を數き只管國作り邁進し又幾多の人柱を出して居る實に軍に次ぐものは土木技術者の挺身であつたと言つても過言ではないの

である。

然しながら果して滿洲國民大衆はどれほど土木者に感謝し如何に有難がつて居るであらうか、現在制どんな僻地でも自動車に乗り又汽車に乗る事が出來は畢竟土木技術に外ならないのであるが彼等は汽自動車に走る事を喜び走る事の出來る迄での苦しい痛切に感じて居ないのではなからうか、之は現地直接大衆と接する方一線の技術者がこの國作りの彼等に眞に理解する事が出來ず土木をやもすると大衆とのみ曲解された技術者の不幸を思料されるのである然し當時の悦しき建設の中に近代文化におくれたであらう彼等に科學技術を語る事はきわめて困難な事は當然であるが、彼等には昔再と言ふ土木者が黄河の治水に切あつて人望高く遂に帝位を讓ら言ふ歴史を持つて居たのである。

國作り或は郷土建設等の國民利福には餘りに多くの聖業が見出されるのである、だが單に土木樹みを切はなし各々と連絡無しに遂行される時其の甚しく減じられる場合が多いのである。

我が北安省穀倉地帯の農産物増産も切に之の圖一脚され綜合的知識と各部門との連結により、土木遂行される時は單なる増産と言ふ一項目にとどまらぬ農民大衆の郷土は建設され輝しい彼等の明日の活が開拓されるのである。

滿洲國の行政が次第に地方に重點が置かれる時地の少壯技術者が眞にこの大地に根張る意氣と努力を持つて大衆に挺身する情熱をさげず、東亞新秩序と言ふ問題も次の飛躍が見出される事と思料せらるで